

事 務 連 絡

令和3年11月1日

熊本県保育推進連盟
会 員 の 皆 様

熊本県保育推進連盟

会長 桑 原 岳 洋

選 挙 に つ い て の お 礼

今回の衆議院議員総選挙では、当会員の皆様に大変お世話になりました。

当連盟唯一の友党である自由民主党は、絶対安定多数261議席をギリギリで確保し勝利を収めることが出来ました。

しかし、残念ながら県内の4つの選挙区のうち第2区で、自由民主党全国保育関係議員連盟会長の野田毅先生の当選が叶いませんでした。

野田毅先生の敗戦の弁に「今後の全国保育関係議員連盟会長の後任に誰になるか心配」とのお言葉がありました。

そこで、熊本県保育推進連盟としましては、全国保育推進連盟の筆頭副会長の大島和彦先生(保育園代表)に連絡し、全国保育推進連盟 加藤勝信会長(前官房長官・元厚生労働大臣)及び 江渡聡徳副会長(元防衛副大臣・保育園理事長)と相談し、早期に全国保育関係議員連盟会長の後任の人選について御尽力をしていただくようお願いしたことを報告いたします。

熊本県保育推進連盟は、今回当選されました熊本県衆議院議員の皆様と共に、引き続き力強く連携し、真に「すべての子どもたち」にとって良きものにすることができるよう、保育の質を高めることを目的として頑張って参ります。

皆様におかれましては、園行事でお忙しい中、またコロナ禍での厳しい選挙で、大変な御協力をいただきましたこと、重ねてお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。